

## かかりつけ薬局の 知っ得情報 ⑭ 『飲み合わせ』



薬を服用する際、ほかの場合や、薬の代謝(分に飲んでいる薬や食べ物、解)を妨げて本来より薬飲み物などの影響によつて濃度が上がってしまう場合、逆により効果も弱まる場合などがあります。

「相互作用」(飲み合わせ) ことですので日頃からご自身が飲んでいる薬の注

効き目が弱まってしまう意点を知っておきましょう。また、薬局でお薬手帳

逆の作用があつて打ち消してもらい、どの病院でもお薬手帳を医師に見せ

成分同士がくっついて体で、今飲んでる薬のことに吸収しにくいものに変を伝えましょう。もし、そ

体外へ出てしまう場合、必ず「他で薬をもらった薬の代謝(分解)を早めて」ことを伝えてく

逆に効き目を強めてしまう薬局を1か所にして、かかりつけ薬局やかかり

れが同じような作用を持つ薬剤師をもつことも

大切です。1か所にするこ  
とで、患者さんが飲んでい  
る薬のことがしっかり把  
握できるため、別々の病  
院で逆の効果の薬を処方

されたり、同じ薬を二  
重にもらっているケース  
などを薬剤師が発見しや  
すくなります。そのよう

な場合には薬剤師が病院  
へ問い合わせし、処方変  
更・削除などの医師の指  
示をもらい、リスクを回  
避します。

薬だけに限らず、何か  
気になることがあります  
たら処方箋がなくてもい  
つでもお気軽にお立ち寄  
り、ご相談ください。

担当薬剤師 宮崎康治  
問い合わせ ☎047・  
360・3600 一般社

団法人 松戸市薬剤師会

心の通う  
医療を目指して



秋山薬局  
松戸市秋山68-1  
☎047・312・7338

